

## 2022.1.27 ステップアップスクール当仁研修会の報告

令和4年1月27日（木）19時分から令和3年年度当仁中学校（ステップアップスクール当仁）の「親の会」教育講演会を行いました。今回は当初、会場で行う予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大でオンラインでの実施となりました。講師は、福岡こども短期大学教授で、福岡市内の中学校でも長くスクールカウンセラーとして活躍されている武部愛子先生でした。前半は、スクールカウンセラーの視点からの子育てへのアドバイスや、今の子どもたちのとらえ方、発達障がいに向き合うかなど、講話をいただき、最後はお話していただき、後半は先生に具体的な質問などを行い研修を深めることができました。

武部先生は福岡市の教育委員であるとともにその豊富な経験と分かりやすい解説で大変人気のある方です。福岡市のみならず各地での講演は「保護者の会」「人権講演」「民生委員や主任児童員研修」などで、子育てから発達障がいの理解など幅広いお話が聞けたと思っています。変化の激しい時代、従来の子どもに対する見方や接し方だけでは理解できないが増えてきています。一人で悩まずみんなで考えていければと思っています。当日は保護者のみならず教職員・主任児童委員・地域・PTA関係など20数名の参加者があり研修を深めることができました。



### 実施要項

主催：ステップアップスクール当仁 講師：武部 愛子 先生

講師プロフィール

福岡こども短期大学 教授 福岡市教育委員 臨床心理士 福岡市スクールカウンセラー

内容：講演、質疑応答（事例アドバイス）

日時：令和4年1月27日（木）19時～

場所：福岡市立 当仁中学校 ステップアップスクール当仁

（感染拡大防止のためオンラインでの実施）

問い合わせ先

ステップアップスクール当仁 代表 内田 富美子 TEL：090-9406-1594

※参加希望者は代表者に連絡をしてください。

## 講演概要

- ・不応・・・自分が思っている姿と違うイメージを持たれると居心地が悪い。
- ・他者の中の自分を知ることが大切。
- ・持って生まれた性格—社交性・楽観性・統率性 etc 自分が持って生まれたもの—欠点（悪いことではない）—そうゆう人だということを知っておくことの大切さ。自分を知ることによって他人を知ることができる。自分と他者を知ることの大切さ。もう一つは「解決するのだ」という力。うまくいかなくても必ずどうにかするという、道を探る気持ちを大人になるまでに手に入れると人生を乗り切っていくことができる。
- ・先に進もうとする力が社会人には必要だが、コロナの世界になって全体的に健康度が落ちている。
- ・10年後の子どもたちを心配している。一番情緒が揺れているはずの中学時代に感情のコントロールをする力を手に入れる時期なのにコロナの蔓延で学べていない。（揺れることとその対応が大切なのだが）
- ・ネットの友達—現実では出会えない関係—しかし、自分で本物の勝負をしないのでいかようにも作れる関係になる。したがってきちんと向き合うことができず、リアルな体験が少ない。現実味がない。
- ・勉強ができなくても学校に通える強さ。
- ・「親に悪い」：こんなにしてもらっているのに後ろめたいという過ごし方はつらい。大人もこんなにしてしまうのにと感じてしまう。子どもの言葉にふりまわされないようにする方がいい。
- ・不登校の子どもの問題を解決しようとする、子どもは行かなくてはいけないとプレッシャーになって失敗を繰り返す。
- ・**小学校の低学年は1対30を体験するためにある。**
- ・自分の意志で取りにいかないと手に入らないということを学ぶ。いろいろな大人がいることを学ぶ場。いろいろな大人を学ぶチャンス。自分の思いを言わないと伝わらない。自ら主張しないとわかってもらえない。
- ・言語が苦手な子どもはこのあたり（小学校中学年）から難しくなる。努力を認められる時期。能力と番う「頑張る」ということを認めてもらうことを知る。
- ・高学年になると「自分を知る」ということを学ぶ。自分でできることとできないことが分かり、内面を知ることができる。自らの不応を知る。
- ・中学校になると他者と折り合いをつけ他者との関係を知る。自分の思い道理にならないことを知り、自分との折り合いを学ぶ。死して、自尊心を学ぶ。
- ・他者との折り合い。納得できないことでも取り組む根気強さ。
- ・高校生以上になると、自分を認める、自分を守る、自分を受け止めて守る。他者も認めて敬意を払う。他者の違いも素晴らしいと思えるのは自分をしっかり持っていないとダメ。違うから尊敬できる付き合いができる。

- ・何をこの年代で学びえるのか手に入れるべきなのかを知っておく。学校に行かないという問題ではなくその時々何を手に入れるのかがわかっていればよい。
- ・絶対に否定されない。それが家庭であるはず。2－3歳の子どもにとって重要。
- ・求められる姿は学校で教師によって教えられる。（家庭と学校の姿は違う）
- ・近いところの目標と遠い目標。自立できる大人になってほしい。今できることを探していく。
- ・コロナの世になって「絶望」していく子どもは「なぜこの子が」という子ばかり。本人からSOSを出さない。主張ができなくなっている。周囲は本人が何が言いたいのか、もっと真剣に聞く。子どもを修正しようとか訂正しようとかしない。本人が主張しなくなると「もういいや」となってしまう。コロナで関わる人が少なくなっている。最後の〇が終わるまで話をしっかり聞くことが大切。
- ・現在、心の健康度が低くなって危険な環境。とにかく**自分の子どもを信じて見守ることが大切。**